

令和元年度	令和2年度
<p>当初予算額 7,890,000円</p>	<p>当初予算額 14,310,000円</p>
<p><b>【毎日コツコツ健康づくり教室】</b> 運動習慣のない人向けに開催。</p> <p><b>【しっかり運動教室】</b> ポールウォーキングを中心に、しっかり運動したい人向けに開催。</p>	<p><b>【体力測定】</b> 体力測定（握力・歩行速度）によりカラダの状態を把握し、メタボ+フレイルの進行を抑え、要介護状態になることを防ぐ。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>【ウォーキング事業】</b> 「歩くこと」が健康寿命の延伸につながると考え、効果的な歩き方を実践する。</p>
<p><b>【糖尿病重症化予防事業】</b></p> <p>ヘモグロビンA1C6.5以上かつ健診時において医療機関未受診の人に個別面談を行っている。</p> <p>対象者：44人 参加者：10人（医療機関から連絡票 3件）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>連絡票を用いてかかりつけ医から注意事項や助言をいただき、市役所から支援内容を報告する双方向の情報共有を行っています。</p> </div>	<p><b>【糖尿病重症化予防事業】</b></p> <p>“放置”すると人工透析に移行する可能性の高い人を抽出し、腎専門医につなげる。</p> <p>腎専門医による適切な治療と合わせて、生活習慣の改善を促す「個別指導」により糖尿病の重症化を防ぐ。</p>
<p><b>【医療機関受診勧奨通知】</b> 医療機関の受診が必要な人に通知する。 対象者：303人 内訳：血圧リスク者 69人           血糖リスク者 18人           脂質リスク者 286人 送付予定：令和2年1月末 効果検証：令和2年2月末を期限とするアンケートで受診の有無等を確認。</p>	<p><b>【スマホやパソコンを利用した保健指導】</b> テレビ電話による面談やダイレクトメッセージによる保健指導。 一人ひとりに合わせたプログラムで、いつでもどこでも指導を受けることが可能。</p> <p><b>【医療機関受診勧奨通知】</b> 健康リスクのある人のうち、医療機関未受診、受診中断、服薬中断者を抽出し、通知する。</p>
<p><b>【服薬通知】</b> 多剤・重複服薬者に、服薬情報を通知する。 該当者：2医療機関以上から6剤以上処方されている人（多剤） 267人           2医療機関以上から同成分の薬を処方されている人（重複） 35人</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>医師会・薬剤師会等からの主な意見</b> 「多剤服用」は、複数の疾病をかかえている場合、6～10剤の服用が必要な場合がある。 「重複服薬」は、同じ効能の薬を併用して治療する場合がある。 「服薬通知」を持ってきたからといって、減薬できるケースは少ないと考えられる。</p> </div>	<p><b>【服薬通知】</b> 健診・医療・服薬情報のデータ分析により、重複・禁忌服薬者を抽出する。 長期間、服薬しているにもかかわらず、検査数値の悪化がみられる人など、薬による弊害が疑われる人に通知する。</p> <p>リーフレットやお薬講座により、薬の適正使用を促す。 お薬手帳を配布し、普及を促進する。</p>